



SHOCHIKU
OTANI
LIBRARY

65th

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館

ニューズレター

No. 310(2024年1月)

令和6年1月10日発行

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

旧年中は皆様より沢山のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます

昨年はクラウドファンディング「【第12弾】開場100周年、大阪松竹座の歴史を紐解く資料を未来へ。」を実行し、193名の方より268万7千円のご支援を頂き、プロジェクトが無事成立いたしました。募集した資金は、大阪松竹座の興行資料である『松竹座ニュース』などの補修とデジタル化のために活用させていただきます。

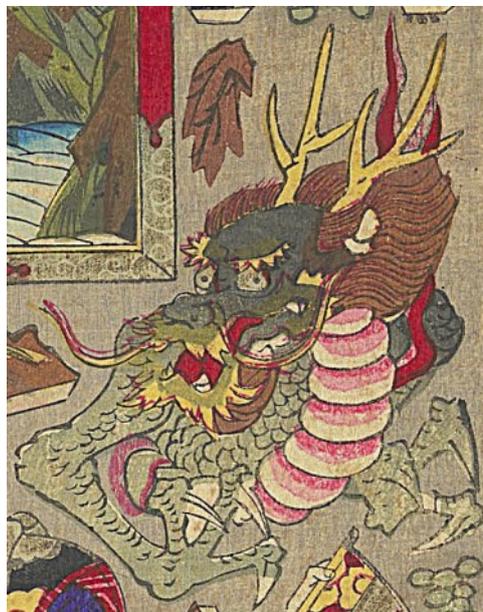
また昨年は、2019年のクラウドファンディングでデジタル化を行った戦前の歌舞伎プロマイドのアーカイブのWeb公開、そして、2022年のクラウドファンディングで4Kデジタル修復を行った小津安二郎の『鏡獅子』の東京国際映画祭でのスクリーン上映と、過去のプロジェクトの大きな成果をご報告することができました。

多くの皆さまの応援とご支援を受け、ますます充実した演劇と映画の専門図書館を目指し、これからも資料の保存・活用にスタッフ一同努めてまいります。本年も当館の活動にご理解・ご協力・ご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

松竹大谷図書館 スタッフ一同

目次:

新年のご挨拶	1
歌舞伎座筋書で「レトロ写真館」の連載が始まりました	2
資料紹介新企画「今月の芝居から」スタート!	2
令和五年度 第52回「大谷竹次郎賞」に関するご報告	2
新着資料案内	3
新規登録資料案内	3
新たに資料をご寄贈くださった方々	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
松竹大谷図書館へのご来館に關しましてのお願い	4
利用案内	4



当館所蔵組上燈籠絵 見立奇術水湖伝組上四枚続部分

■歌舞伎座筋書で「レトロ写真館」の連載が始まりました

今年から新たに始まった歌舞伎座筋書の連載「明治大正昭和 レトロ写真館」は、当館スタッフが写真選定と文章を担当しています。一年間にわたって連載される予定ですのでどうぞお楽しみに。1月のテーマは「記念写真」、式典や行事などに出席した歌舞伎俳優を撮影した5点を紹介しています。

こちらはその中の一枚、昭和3年3月下旬に横浜から汽船大洋丸に乗って欧米漫遊へ出発する十五世市村羽左衛門と妻はるを見送りに集まった人々を写したものです。当時の人気俳優羽左衛門の洋行は大変な話題で、この月の歌舞伎座ではその門出を寿ぐ『春霞旅行橘（はるがすみたびにたちばな）』が上演されました。送別会の場の後の横浜港出帆の場では、船上の羽左衛門と夫人（演じたのは息子の市村家橘）に向かって見送りの人々がテープを投げると、観客の前に五色のテープが下りてきたとか、観客にも毎日小旗を配って送別の場面を盛り上げたとか、楽しいエピソードが伝わっています。



十五世市村羽左衛門(中央)と妻はる(その左)

■資料紹介新企画「今月の芝居から」スタート！

当館では演劇・映画の専門図書館である当館の所蔵資料を広く知っていただこうと、平成22(2010)年より、閲覧室において様々な企画で所蔵資料ミニ展示を開催しております。昨年、令和4(2023)年11-12月のミニ展示「映画監督 小津安二郎 生誕120年、没後60年」において記念すべき第100回を迎えました。

当館は閉架式の図書館のため、直接利用者の方に書架に並んでいる資料を手にとって選んでいただくことができません。しかしながら今後はぜひ、より多くの方にもっと気軽に当館資料に親しんでいただきたいとの思いからこれまでのケース展示に加え、新たな資料紹介の企画を立ち上げることにいたしました。

令和6(2024)年1月からは、利用者の方からもリクエストの多い、歌舞伎座などで上演中の演目の関連資料をお席でお読みいただけるブックトラック資料紹介企画「今月の芝居から」を開始いたします。こちらは年間を通して不定期で随時、開催していく予定です。

資料紹介「今月の芝居から」

歌舞伎座などで上演中の公演作品にちなんだ図書やプログラムなどの関連資料を手にとってご覧いただけるブックトラック資料紹介コーナーを



「新春浅草歌舞伎」プログラム

閲覧室内に設けます。ご観劇の際などに気軽に立ち寄っていただき、上演中の演目の関連資料を読むことで、より舞台を楽しんでいただければ幸いです。

今月1月の紹介資料は、浅草公会堂「新春浅草歌舞伎」、歌舞伎座 壽初春大歌舞伎『荒川十太夫』『息子』、三越劇場 初春新派公演『東京物語』です。

【開催期間】令和6(2024)年1/11～1/24 平日:10～17時(休館日:土日祝日、毎月最終木曜日)／**【開催場所】**(公財)松竹大谷図書館 閲覧室／**【入館無料】**／※現在、資料のご利用は電話予約優先となっておりますが、資料紹介「今月の芝居から」はご予約なしでご覧いただけます。お気軽にお立ち寄りください。

■令和五年度 第52回「大谷竹次郎賞」に関してのご報告

令和五年度 第52回「大谷竹次郎賞」は選考の結果、該当作品なしと決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

【「大谷竹次郎賞」とは】本賞は、毎年1月より12月までの公演で、松竹系のみならず、歌舞伎俳優によって上演された新作の歌舞伎及び歌舞伎舞踊の脚本を対象とし、娯楽性に富んだ優れた歌舞伎脚本に贈る賞です。昭和47年2月14日からはじまり、令和五年度で52回目を迎えました。毎年、大谷竹次郎（松竹株式会社創業者のひとり）の誕生日、12月13日にあわせて発表しており、該当作がない場合、佳作や奨励賞（新人対象）を贈る場合もあります。当館からは副賞として受賞者に松竹大谷図書館賞の記念レリーフ（荒川明照氏作）を贈呈しています。この10年の受賞作は、今井豊茂氏『陰陽師 滝夜叉姫』（平成25

年度 第42回）、川崎哲男氏・松岡亮氏『壽三升景清』（平成26年度 第43回）、今井豊茂氏『あらしのよるに』/横内謙介氏『スーパー歌舞伎II ワンピース』（平成27年度 第44回）、三谷幸喜氏『月光露針路日本 風雲児たち』/丹羽圭子氏・戸部和久氏『風の谷のナウシカ』（令和元年度 第48回）、竹柴潤一氏『赤穂義士外伝の内 荒川十太夫』（令和4年度 第51回）です。これらの受賞作の台本は当館に保存されており、一般公開しておりますので、どなたでもご覧いただけます。

▼大谷竹次郎賞についてはこちら

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/summary/about.html>

新着資料案内 (ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系12月演劇公演資料◆		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『旅鳴岡崎猫』	○	○		
	『超歌舞伎Powered by NIT 今昔饗宴千本桜』	○	○		
	『爪王』	○	○	○	○
	『俵屋玄蕃』	○	○		
	『狸々』		○		
新橋演舞場	『天守物語』	○	○		
	『流白浪燦星 (ルパン三世)』	○		○	○
南座	『双蝶々曲輪日記 角力場』	○			
	『歌舞伎十八番の内 外郎売』	○			
	『男伊達花廓』	○			
	『壽三升景清 歌舞伎十八番の内 景清』	○		○	
	『仮名手本忠臣蔵 祇園一力茶屋の場』	○			
	『十三代目市川團十郎白猿八代目市川新之助襲名披露 口上』				
松竹座	『歌舞伎十八番の内 助六由縁江戸桜』	○			
	『シェルプールの雨傘』	○		○	○
	『わが街、道頓堀』			○	

プログラム/『ABC座星(スター)劇場2023 5 Stars Live Hours』 帝国劇場プログラム/『第5回連理の会』 東京証券会館ホールプログラム/『第172回文楽公演』 国立文楽劇場プログラム、床本

◆映画資料◆『METライブビューイング2023-24』ポスター、パンフレット/『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』ポスター、台本、パンフレット

◆映画パンフレット◆(順不同)『VORTEX ヴォルテックス』『ウオンカとチョコレート工場のはじまり』『TALK TO ME トーク・トゥ・ミー』『ファースト・カウ』『シン・エヴァンゲリオン劇場版: |』『キリエのうた』『ラ・メゾン 小説家と娼婦』『NOCEBO ノセボ』『屋根裏のラジャー』『ウィッシュ』『劇場版 SPY×FAMILY CODE: White』『ナポレオン』『エクソシスト 信じる者』『窓ぎわのトットちゃん』『ティル』『ポトフ 美食家と料理人』

◆演劇雑誌◆(順不同)『Confetti』2024年1月/『DRAMAかながわ』90号/『KENSYO』Vol.131/『act guide [アクトガイド]』2023 Season 17/『あぜくら』2023年12月号/『こてん』26号/『ほうおう』2024年2月号/『ジョイン』No.107/『テアトロ』2024年1月号/『ラ・アルプ』2023年12月号, 2024年1月号/『劇評』第21号/『大向う』令和5年12月号, 令和6年1月号/『日本演劇興行協会会報』65号/『日本照明家協会誌』2023年12月号/『日本舞踊』76巻1月号/『悲劇喜劇』2024年1月号

◆映画雑誌◆(順不同)『FLIX』2024年2月号/『NFAJプログラム』No.51/『SCREEN』2024年2月号/『TVガイド』2023年12/8号, 12/15号, 12/22号, 2024年1/5号/『おとなのデジタルTVナビ』2024年2月号/『キネマ旬報』2024年1月号, 増刊キネマ旬報 NEXT Vol.51, Vol.52, Vol.53, Vol.54/『シナリオ』2024年2月号/『シナリオ教室』2024年1月号/『ドラマ』2024年1月号/『ピクトアップ』2024年2月号/『ムービー・スター』2024年2月号/『映画テレビ技術』2023年12月号, 2024年1月号/『映画時報』2023年11月号/『日経エンタテインメント!』2024年1月号

◆他社演劇公演資料(2023年10月-12月)◆(順不同) 劇団民藝『巨匠ジスワフ・スコヴォンスキ作「巨匠」に拠る』 紀伊国屋サザンシアターTAKASHIMAYAプログラム/名取事務所『慈善家 フィランソロビスト』『屠殺人 ブッチャー』 下北沢「劇」小劇場プログラム、台本/『尺には尺を』『終わりよければすべてよし』 新国立劇場中劇場プログラム/『東京ローズ』 新国立劇場小劇場プログラム/『PURE GOLD 大地真央50周年記念コンサート』 シアタークリエプログラム/ミュージカル『天使にラブ・ソングを シスター・アクト』 シアターオーブ

新規登録資料案内 (順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『高峰秀子おしゃれの流儀』『美と破壊の女優京マチ子』『映画の香り 私のシネマパラダイス』『続・風の帰る場所 映画監督・宮崎駿はいかに始まり、いかに幕を引いたのか』『出発点 1979~1996』『折り返し点 1997~2008』『風の帰る場所 ナウシカから千尋までの軌跡』『伝統演劇の破壊者川上音二郎』『国立劇場蔵上方浮世絵展』『こんにやく座のオペラ since1971』『こんにやく座のオペラ since1971 II』『ミュージカルエリザベト AnniversaryBook 2000-2022 永久保存版』『中島勝祐のきせき 中島勝祐十三回忌記念誌』『茶壺 見て聞いてまねして楽しむ歌舞伎絵本』『狐忠信 見て聞いてまねして楽しむ歌舞伎絵本』『八千代座坂東玉三郎八千代座公演三十周年』『中村吉右衛門舞台に生きる 芸に命を懸けた名優』『素王の人十二代目市川團十郎

時空の愛芸の伝承 薄井大選作品展』『松本幸四郎家高麗屋展 松本白鸚・松本幸四郎・市川染五郎 世代をこえて継がれる、ひとつの絆』『中華電影データブック 完全保存版』『瓶の中』『ゴジラの世界 村上裕二画集』『庵野秀明展』『竜とそばかすの姫オフィシャルガイドブックU』『たまゆら同窓会 memorial interview』『NHK大河ドラマ 大全50作品徹底ガイド完全保存版』『「ゲッターロボ アーク」オフィシャルワークス』『10th Anniversary ゼーガペインSBS 夏の始まり@舞浜サーバー』『扉座四十年生 1980-2021 劇団創立四十周年記念特別号』『INHERIT』『文楽ナビ』『戯曲 さすらいのジュニー』

新たに資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2023年11月まで)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部、熊澤春陽、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、有限会社合同通信社、株式会社日本舞踊社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、シナリオ・センター、国立劇場、シアタークリエ、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館、樽松大剛、文学座、無声映画鑑賞会、川崎哲男、株式会社ITC村井文男、日本映画テレビプロデューサー協会、人形劇団ブーク、劇団民藝、国立映画アーカイブ、ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ、博多座、株式会社カモミールシアター編集、公益社団法人日本照明家協会、(有)山本書店 山本賢三、黒澤明研究会会誌、坂原利子、一般社団法人日本民間放送連盟、帝国劇場、東宝株式会社ライツ事業部、おとなのデジタルTVナビ編集部、(株)近代映画社、銀座百店会、一般社団法人日本映画製作者連盟、玉川大学教育博物館、銀座たてももの展実行委員会、松永忠五郎、ハーフムーン・シアター・カンパニー 吉岩正晴、キネマ旬報社、矢島志津、公益財団法人阪急文化財団、こまつ座、協同組合 日本映画撮影監督協会、丹野達弥、公益財団法人日本近代文学館、富山悠一、国立歴史民俗博物館、東海大学文明研究所、劇団俳優座、新国立劇場情報センター、大場潤一、細矢タエ

どうもありがとうございました

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和5[2023]年12月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人 (敬称略)

浅野久枝

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館へのご来館に關しましてのお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

《現在のご利用について》(※2024年1月9日改定)

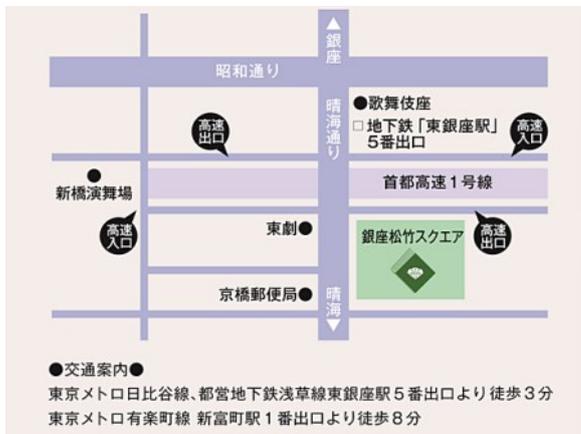
- 開館時間 10:00～17:00
- ご来館前日までに電話でご予約いただいた方が優先となります。
当日のご利用も閲覧席に空きがある場合は承っておりますので、お問い合わせください。
展示はご予約なしでご覧いただけます。
松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日10時～17時)
- マスクの着用と手指消毒のご協力をお願いしております。

《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でご利用いただけます。
- ★お名前、人数、ご希望日時(〇月〇日〇時より〇時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせください。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用いただけない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
[入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式X



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階

TEL:03-5550-1694

公式HP <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>